

# 小学校 国語 課題の具体と指導改善のポイント

3四 (一)から(二)に書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する

- 1 とめやはねの書き方
- 2 文字の大きさ
- 3 文字と文字との間
- 4 行の中心

(一) うららかな春の日が続いています。いかがお過ごしでしょうか。わたしは今年、六年生としてがんばりたいことがあります。

(二) うららかな春の日が続いています。いかがお過ごしでしょうか。わたしは今年、六年生としてがんばりたいことがあります。

四 鳥谷さんは、「六年生としてがんばりたいこと」を手紙で伝えたいと思い、(一)を書きました。そして、相手の読みやすさを考えて(二)のように書き直しました。鳥谷さんが書き直すときに気をつけた内容として最も適切なものを、あとの1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましよう。

【出題の趣旨】漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるか

【学習指導要領の内容】我が国の言語文化に関する事項3・4工(イ)

【評価の観点】知識及び技能

【問題形式】選択式

【課題】 行の中心に文字の中心をそろえて書き直していることを捉えることができていることに課題がある。



## 指導改善のポイント

★普段から漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く

- ・相手にとって読みやすいかという意識をして書くことを指導することが重要。書写で学習したことを日常生活で活かすことを意識できるよう指導することも大切。

3四	正答率	無解答率
和泉市	69.6	11.2
全国(公立)	77.9	5.9

【出題の趣旨】文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるか

【学習指導要領の内容】思考力、判断力、表現力等：B書くこと(5・6カ)

【評価の観点】思考・判断・表現

【問題形式】記述式

【課題】 条件に合う言葉や文を取り上げること、また条件に合わせて文章を構築し、表現することに課題がある。

## 指導改善のポイント

★条件を踏まえて文を書くなど、文で表現する活動を積み重ねる

- ・読み手に考えがよく伝わるようにするために、目的や意図に応じて、詳しく書く必要がある場合や簡単に書いた方が効果的である場合などを判断しながら書き表し方を工夫する。

★文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける

- ・伝え合う経験を積み重ね、自分の文章のよいところを見付けたり、それを言葉で表したりすることを大切にす。
- ・自分が書いた目的や意図を相手に伝えたり、感想や意見を具体的に伝え合ったりすることができるようにすると効果的です。

## 3二 【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く

【伝え合いの様子(一部)】

鳥谷さん 私のがんばろうとしていることが伝わるかな。  
川口さん 伝わってきたよ。それは、上級生が話してくれたことや、委員会で活動したことをもたしているからだね。  
鳥谷さん それはよかった。他に気づいたことはあるかな。  
川口さん 最後の段落がいいね。なぜかというところ、最初の段落の内容をより具体的に書いているから、今年がんばろうとしていることがよく伝わってきたよ。  
鳥谷さん ありがとう。自分でもふり返ってみるね。次は、川口さんの文章を読んだ感想を伝えるね。  
5 (伝え合いが続く) 5



二 鳥谷さんは、川口さんと「文章2」を読み合い、感想を伝え合いました。次の「伝え合いの様子(一部)」をよく読み、あとの問いに答えましよう。

【文章1】

わたしは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、みんなにそうじ用具の正しい使い方を教えてほしいという思いをもち、正しく使うことができる学校の様子をうまくして、各学級にしようかという活動がすばらしいと思いました。

この話を聞き、五年生の時にさばい委員会では自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをはんせいしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしたむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかと思っています。

【文章2】

わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。

そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思ったからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を教えてほしいという思いをもち、正しく使うことができる学校の様子をうまくして、各学級にしようかという活動がすばらしいと思いました。

この話を聞き、五年生の時にさばい委員会では自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをはんせいしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしたむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかと思っています。

3 鳥谷さんの学級では、「六年生としてがんばりたいこと」を書くことになりました。次は、鳥谷さんが最初に書いた「文章1」と書き直した「文章2」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましよう。

3二	正答率	無解答率
和泉市	36.4	16.1
全国(公立)	37.7	14.5

### 2 (4) 果汁30%の飲み物に果汁が180ml入っているときの、飲み物の量の求め方

2

果汁入りの飲み物について考えます。

(4) かいとさんたちは、果汁の割合と果汁の量がわかっているとき、飲み物の量を求めることができるかどうかを考えています。そこで、りんごの果汁の割合が30%で、果汁の量が180mLのときの飲み物の量を求めることにしました。

果汁が30%ということは、果汁が30mLのとき、飲み物の量は100mLですね。

そうですね。私は、果汁の量から飲み物の量を求めるために、表にまとめました。

果汁の量と飲み物の量

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

上の表を見て、かいとさんは、次のことに気づきました。

果汁の量が2倍、3倍になると、それにもなって飲み物の量も2倍、3倍になることがわかりました。

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

ゆうかさんは、かいとさんが気づいたことをもとに、次のように考えました。

下の表のように、果汁の量が□倍になると、それにもなって飲み物の量も□倍になるのではないのでしょうか。このことを使えば、果汁の量が180mLのときの飲み物の量を求めることができますね。

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

果汁の量が180mLのときの飲み物の量は、何mLになりますか。180mLが30mLの何倍かをどのように求めたのかわかるようにして、飲み物の量の求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

【出題の趣旨】 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるか

【学習指導要領の領域】 (変化と関係5 (1) イ (ア))

【評価の観点】 思考・判断・表現

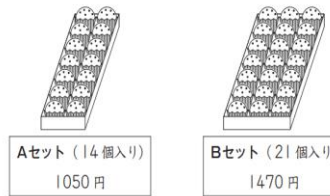
【問題形式】 短答式

【課題】 日常の具体的な場面に对应させ、2人で飲み物を分けた時、量は半分でも果汁の量は変わらないことを理解できていない。

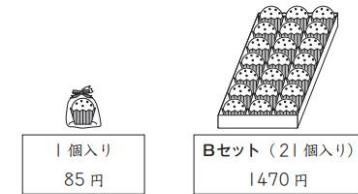
### 1 (4) 85×21の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ

1

カップケーキが、下のように売られています。1箱14個入りで1050円のAセットと、1箱21個入りで1470円のBセットがあります。



(4) カップケーキが1個入り85円でも売られています。くるみさんは、1個入り85円のカップケーキ21個分の値段と、Bセット1箱分の値段である1470円を比べることにしました。



1個入り85円のカップケーキ21個分の値段は、85×21で求めることができます。

85×21の答えが1470より必ず大きくなることは、85×21をそのまま計算せずに、85と21をがい数にして計算してもわかります。

85×21の答えが、1470より必ず大きくなるのがわかるためには、「85」と「21」をどのようにがい数にして計算するとよいですか。下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 85を小さくみて80、21を小さくみて20として計算します。
- イ 85を小さくみて80、21を大きくみて30として計算します。
- ウ 85を大きくみて90、21を小さくみて20として計算します。
- エ 85を大きくみて90、21を大きくみて30として計算します。

【出題の趣旨】 日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、数量の関係に着目し、数の処理の仕方を考えることができるか

【学習指導要領の領域】 A数と計算4 (2) イ (ア)

【評価の観点】 思考・判断・表現

【問題形式】 選択式

1 (4)	正答率	無解答率
和泉市	34.5	0.9
全国 (公立)	34.8	1.1

選択問題であるにも関わらず、全国的にみても算数（本調査）において正答率が最も低い結果となりました。

### 指導改善のポイント

★目的に合った数の処理の仕方を選ぶことができるようにする

- ・日常生活において、数の大きさを見積もる必要があるときは、目的に応じて数を大きくみたり小さくみたりして、概算できるようにすることが重要である。その際、概算する方法である切り上げ、切り捨て、四捨五入を用いて計算し、どの方法が適切であるかを判断できるようにすることが大切です。
- ・子どもたちの日常生活に落とし込んだ課題設定をしながら、子どもたちが常に既習事項をどのように実生活に生かせるかを考えられる授業づくりが必要です。どんなときに、どんな方法で解決できるかを十分に考えることができる活動を取り入れることが大切です。

【課題】 目的に合った概数にして計算する方法を選べていない。

概数にして計算するとよいと考えることができたが、目的に合った概数にして計算する方法を選べていない

### 指導改善のポイント

★算数の授業でも言語活動を大切にする  
・じっくり考え、それをことばとして表現できる時間を設定することが大切です。

★「日常の具体的な場面」に対応させて割合を捉える

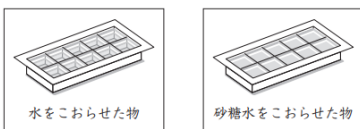
- ・日常生活の事象において、二つの量の関係を表す数である割合が変わらないことを豊富に体感させることが大切です。割合の学習の際、数や式を日常の具体的な場面に関連付けて理解できるようにすることが大切です。

# 小学校 理科 課題の具体と指導改善のポイント

## 2 (4) 凍った水溶液について、試してみたいことをもとに、見出された問題を解く

2 たろうさんたちは、紅茶を冷やしたり、あまくしたりして飲むために、水と砂糖水を冷たく凍らせておこらせることにしました。

(4) 砂糖水をこおらせた物は、紅茶に入れるとしずみました。



水が先におおって、砂糖水は、こおるのに時間がかかったよ。砂糖水は、水よりこおる温度が低いのかな。調べてみたいね。

水をこおらせた物は、紅茶にうくのくに、砂糖水をこおらせた物は、しずんだよ。

水を入れても、砂糖水をこおらせた物は、しずんだよ。

【問題】 砂糖水や食塩水がすべてこおる温度は、水がすべてこおる温度より低いのだろうか。

砂糖水や食塩水は、こおるのが水の部分だから、砂糖水も食塩水も水と同じ0℃で、すべてこおると思うよ。

実験してみよう。

砂糖水をこおらせた物だから、水にしずんだのかな。砂糖水ではない、ほかの水より液をこおらせた物でも試してみたいね。

はるとさんは、試してみたいことをもとに、【問題】を見つけたよ。はるとさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。

2 (4)	正答率	無解答率
和泉市	36.5	10.2
全国(公立)	39.3	8.7

【課題】 自然の事物・現象から得た情報を分析し、解釈し、解決できるかまで検討して、自分の考えを持つことに課題がある

### 指導改善のポイント

★自然の事物・現象に働きかけて得た事実について、自分や他者の気づきをもとに分析して、解釈し、問題を見いだすことができるようにする。

- ・事実を比較し、差異点や共通点を捉えることができるようにすることが重要です。
- ・指導にあたっては、自然の事物・現象に働きかけて得た事実について、話し合う中で、自分や他者の気づきを捉え、主に差異点や共通点をもとに、問題を見いだす場面を設定することが大切です。

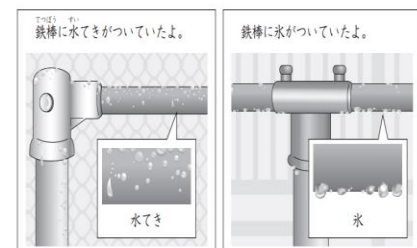
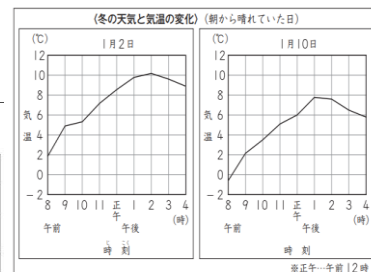
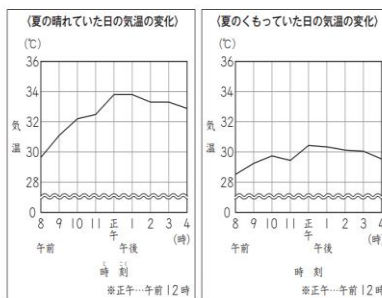
## 4 (4) 鉄棒に付着していた水滴と氷の粒は、何が変化したものかを書く

4 よしこさんたちは、気温の変化について話し合っています。

4年生の学習で、春や夏は、下のグラフのように、晴れだと気温の変化が大きく、雨やくもりだと気温の変化が小さいということがわかったね。冬でも同じかな。

よしこさんたちは、冬の天気と気温について調べ、天気によって、下のよう整理をしました。

(4) よしこさんは、インターネットを使って、各地の友達から朝のようすの写真を送ってもらいましたが、その中で2枚の写真が気になりました。



よしこさんは、2つの現象を調べて、次のようにまとめました。  
□にあてはまることを書きましょう。

朝、鉄棒に、水できや氷がついていた。気温が下がり、空気中の□が冷やされて、水できや、水できになったあと氷になる現象が見られた。左の写真は「つゆ」、右の写真は「どうろ」というらしい。気温のちがいで、異なる現象が起こることがわかった。

「冬の気温の変化の仕方は、天気によって変わるのか」という【問題】が見つかったよ。自動で記録する温度計を使って調べよう。

【出題の趣旨】 水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているか

【学習指導要領の領域】 「粒子」を柱とする領域4A(2)ア(ウ)、「地球」を柱とする領域4B(4)ア(イ)

【評価の観点】 知識・技能

【問題形式】 短答式

4 (4)	正答率	無解答率
和泉市	52.3	7.2
全国(公立)	62.0	6.2

【課題】 水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念の理解に課題がある

### 指導改善のポイント

★知識をより深く理解できるようにする

- ・知識をより深く理解するためには主体的な問題解決を通して知識を習得し、学習の効果を日常生活との関わりの中で捉えなおすことができるようにすることが重要です。指導にあたっては、そのような場面を設定しながら授業をすすめることが大切です。